

年度決算 状況は・・・

富士見町の貯金って
どのくらいあるの？

基金(貯金)とは……税金などの収入に左右され
ることなく計画的に事業を進められるよう、
余裕のある資産を積み立てているものです。
この基金には、突発的な災害に備えるものや
いろいろな施策のために目的を持って積み立
てられているものがあります。

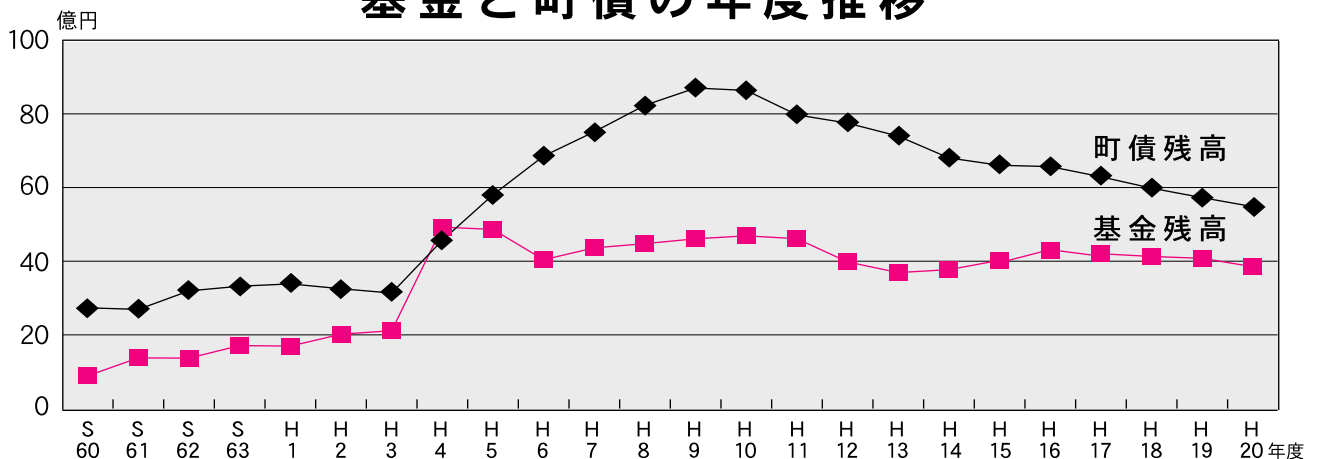
かどうかを審査し、その結果を評価する議会です。
されなければいけません。また、決算議会には、
という役割があります。

(町債)の種類や推移で振り返ってみたいと思い

万円未満四捨五入

財政調整基金	町予算の年度間の財源の不均衡を調整したり、災害の発生 など思わぬ支出に備えるために積み立てています。	17億6,633万円
ふるさと創生基金	町の特色を生かし、創意工夫をこらした独創的・個性的な 地域づくりを自主的に行う事業のために積み立てています。	2億2,942万円
減債基金	町債の返済の財源や繰り上げて町債を返済するための積立 です。	4億4,840万円
ふるさとみらい基金	町内外からの寄付金で、自然保全・観光振興・子育て支援 など、独自施策を進めるために積み立てています。	1,000万円
下水道施設整備基金	下水道施設の建設、設備の更新に充てるための積立です。	1億5,357万円
土地開発基金	公共用地をあらかじめ取得し、公共事業の円滑な執行を図 るための積立です。	2億6,520万円
この他「奨学基金」「義務教育施設整備基金」「社会福祉基金」「むらおこし基金」「地域福祉基金」等20 ほどの基金がありますが、それぞれの目的以外には使えません。		
基金一般会計合計		34億4,975万円

基金と町債の年度推移



平成3年から9年に起債が右肩上がりなのは、下水道の設備、コミプラの建設(H6)高原中学校の建設(H8)、などのためです。また、平成4年度に基金が増えているのは、「観光施設・観光開発」の2つの特別会計を普通会計に編入したためです。富士見町は、平成14・15年に、合わせて28.8億円の借金をしてパノラマの施設を買い取りましたが、特別会計で行っているため、このグラフでは示されていません。

年々、確実に町債は減っていますが、町民センターや体育館、清泉荘など、町の施設の老朽化が進み、今後も大きな課題は残されています。